

第6回長沼町一体型義務教育学校開校準備委員会 会議録

I. 日 時	令和7年4月28日（月） 18:00～19:00
II. 場 所	長沼町役場 3階 第1・2会議室
III. 参集者	委 員 11名 事務局 6名
IV. 議事内容	
1. 委嘱状交付	間嶋教育長から各委員へ委嘱。※交付は省略
2. 開 会	小林課長
3. あいさつ	間嶋教育長 教育長は別の公務のため退出。
4. 議 題	<p>八柳委員長が議長となり議事を進行。</p> <p>（1）令和7年度のスケジュールについて 事務局より資料に基づき説明。 令和7年度については教育目標・校章・制服・校歌の4点について、検討・審議を進めていくとともに、新校舎の一般開放の在り方などについても検討していくことを予定。</p> <p>（2）制服の方向性について 事務局より資料に基づき説明し、グループワークを実施。</p> <p>「制服を取り入れるか（着用時期）」 「現行の制服を変更するか」 「どのようなデザインにするのか」 「プロポーザルではどのような観点が必要か」などについて検討。</p> <p>昨年11月から12月に実施したアンケート結果から、各テーマに関連する意見や傾向を踏まえながら、グループワークを実施。</p> <p>※グループワークの結果を踏まえて、次回プロポーザルの実施について検討。</p> <p>（3）次回開催日について 事務局より説明。</p> <p>※次回は5月中～下旬を予定。改めて連絡する。</p>
5. その他	事務局より5月9日のまちづくり学習会の開催について、説明。
6. 閉 会	八柳委員長

以上

■各議題にかかる質疑応答一覧

○議題（１）令和７年度のスケジュールについて

質疑なし

○議題（２）制服の方向性について

グループワーク実施（18:18～）

①制服を取り入れるか（※制服の着用時期について）

A グループ

制服を取り入れるかどうかについては、取り入れるということでグループワークを進めた。着用時期については、アンケートの結果を踏まえて7年生（中学1年生）からの着用とした。アンケートの中には、制服の着用機会に対する意見があり、現在の中学校ではジャージを準制服としていることから、ジャージ登校が多くなっているが、制服で登校する日を設定して、着用する機会を増やしていく必要があるとの意見があった。

B グループ

制服を取り入れることを前提にグループワークを進め、着用時期については7年生からの導入とした。制服のお下がりに対する意見があり、令和9年度の7年生が新制服を着て、8・9年生では旧制服となるが、サイズアウトする場合は、新制服でも旧制服でも選択できるような幅を持たせていくことで、いろいろなニーズに対応できるのではないかという意見があった。

C グループ

制服がなかった場合に、どのようなことが考えられるかについて話し合い、経済的に負担が多くなることが考えられることから、制服を取り入れていくのがよいのではないかという意見があった。

着用時期については、アンケート結果も踏まえ7年生が望ましいとした。

②制服（ジャージ）を変更するかどうか・どのようなデザインにするのか・プロポーザルではどのような観点が必要か

A グループ

制服は変更すべきという意見であった。ジャージについては中学生のアンケート結果を見ると現行のジャージを気に入っているようであるが、新たに製作すべきとの意見であった。

デザインについては、アンケート結果を踏まえてブレザータイプで、下がスラ

ックスかスカートを選べるようにするのがよいのではないかとの意見であった。

夏服についてはポロシャツにするのがよいのではないかとの意見であった。また、その他では制服を着た時に学年が見分けられる工夫があるとよいとの意見であった。

プロポーザルの観点では、制服を洗えるのかどうか重要であり、その次に価格も重要との意見であった。特に、中学生については一番デザインを気にするところとの意見であった。また、素材について、機能性や耐久性についても考慮していく必要があるとの意見であった。

Bグループ

制服を変更するという意見であった。制服のタイプについては、上がブレザーで下については、スラックスかスカートで性別に関係なく選べるようにするべきではないかとの意見であった。さらに、ネクタイやリボンの部分についても選択できるようにし、コンビネーションに幅を持たせることで、子どもたちの選択肢を増やすことができるのではないかとの意見であった。

プロポーザルの観点では、価格の観点から、グループ内ではユニクロの制服を採用している学校があるという話題になったが、やはり可愛い制服を着たいというニーズもあることや、安定して供給してくれることを考えると、既存の制服メーカーに依頼したほうが価格は上がるが、安心感はあるとの意見であった。また、デザインや色については、長沼高校の制服がえんじ色なので重複しない色にするなどの考慮や、子どもたちの意見を取り入れてプロポーザルに反映させるのはどうかとの意見であった。

また、ジャージについては、現行のままがよいのではないかとのことに加え、変更する場合については、メーカーが十年ぐらいすると作らなくなるという状況を踏まえ、在庫が切れたところで比較的スムーズに変更することができるのではないかとの意見であった。ジャージは男女関わらず、いろいろ家族内でやり取りをしており、その流れを汲むと、そのままのデザインにしたほうがストレスがないという意見があった。

Cグループ

制服については変更していくべきという意見であった。ジャージについては、そのままがよいという結果であったが、より安くてよいものができるのであれば新しくすることも可という意見であった。また、制服のデザインについては、アンケートの中にたくさんあったブレザータイプについてジェンダーフリーにも対応できることからよいのではないかとの意見であった。また、夏服については、ポロシャツなど涼しい服装ができるものがよいとの意見があった。

○議題（3）次回開催日について

質疑なし